



発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
072-824-1181  
FAX: 824-7760  
No.3489

寝屋川市議員  
中林かずえ  
宝町 4-33  
090-3944-8385  
寝屋川市議員  
松尾信次  
下木田町 12-6  
090-3056-9924  
寝屋川市議員  
西田まさみ  
石津中町 30-3  
090-9713-3588  
前寝屋川市議員  
太田とおる  
高柳 2-49-2  
080-3818-9722

# 6月市議会開会 6月19日から7月10日まで 日本共産党 市民要求実現へとりくみます



子どもたちを2回動員しようと計画されている  
建設中の万博会場

## 寝屋川市は「万博2回目の招待」 子ども・保護者の自由な判断にゆだねる

6月市議会が17日からはじまりました。日本共産党議員団は一般質問(7月1、2、3日)常任委員会所管事項質問(7月4、5、8日)で3人の議員全員が質問し、要求実現へ奮闘します。

6月市議会には、報告5件、条例2件、予算5件、工事請負契約の変更1件、教育委員の任命1件が提出されています。

補正予算では、「万博開催記念 子どもたちの体験促進事業」として、5,927万4,000円が計上されています。

万博への大阪府による子ども無料招待については、「安全な移動手段が確保できるのか」「現地が安全なのか」

「教育的効果があるのか」など、さまざまな問題が指摘されています。

大阪府は「万博2回目の招待」として、参加費用を市町村にもつよう、もめています。

教員、保護者などからは、「1回目もむづかしいのに、2回もやる必要があるのか」などの声が寄せられています。

今回の寝屋川市の提案は、年齢にみあう前売り券相当額の費用は

## 市駅前広場リニューアル 設計委託料などの予算も

### 設計委託料などの予算も

寝屋川市駅東西駅前広場リニューアルに係る基本設計業務委託料、総合センター跡地設計委託料、アドバンスねやがわ1号館屋上整備詳細設計業務委託料も提案されています。

事業の概要は次のとおりです。  
※都市再生整備計画概要  
要 面積 10・5 ha  
概算事業費  
全体約23・5億円  
計画期間25年度から29年度

▼寝屋川市駅東側駅前広場の整備  
9億9,800万円

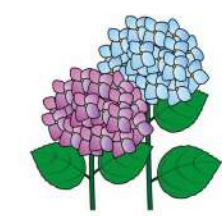
市が補助するが、使い道は自由で、万博に行ってもいいし、その他、子どもたちの体験をおこなうことに必要なこと(図書を買うこと等も可能)に使うことも可能というものです。

対象は2025年4月1日時点で満4歳から17歳までの子ども。支給額は満4歳から11歳 1,200円。満12歳から17歳 3,000円です。

補正予算が可決されれば、児童手当が12月

の支給分から高校生までの支給となるため、この児童手当支給時に振り込まれます。

高年齢者の新型コロナウイルスに係る経費5億2,011万8,000円が計上されています。65歳以上の市民が対象です。1人当たりの自己負担は1,600円です。



保健福祉センターと隣接している立地を生かした防災拠点



アドバンス1号館

# 若者が集う「まち」としての活性化

## 萱島駅周辺エリアまちづくりビジョン(素案)を説明 市議会全員協議会

11日の市議会全員協議会で、「萱島駅周辺エリアまちづくりの将来ビジョン(素案)」の説明がありました。ビジョンは今年度を起点に、萱島東地域のおおむね15年後のまちの姿を展望したものとされています。

まちづくりの方向性として、① 鉄道における交通便利性が高い② 昭和の雰囲気や下町の風情が残るまちなみ③ 家賃や住宅取得費用など住居費がリ

ズナブル④ 人口が20歳代以下で増加⑤ リノベーションまちづくりの機運の高まり⑥ 市内外から人が訪れ活気がある商店街はまちの魅力を高める。以上の点をふまえ、考えられる施策の方向性を示しています。

全で心地良い空間③ 駅前広場等のリニューアル まちへの期待が高まるエントランス④ 都市計画道路「萱

島讚良線」の整備 人が主役の「かやしましんみち」⑤ 萱島讚良線沿道の活性化 新しい景色が広がるロード

## 大型店と地域の店舗の共存可能か

かつて、萱島地域は若い世代が多数転入し、活発なまちがつけられました。この良き経験を受け継ぐことは重要です。

今住んでいる住民の意見をよく聞き、まちづくりを住民参加ですめていくことが重要です。

今住んでいる住民の意見をよく聞き、まちづくりを住民参加ですめていくことが重要です。



萱島の商店街

下町の雰囲気を残しつつ、新たなまちの魅力を創出するため、▼市内外から若者が集う「まち」としての活性化▼今ある地域資源を活かした「まち」のリノベーション、をあげ、「まちの個性」をつくる、としています。事業のとりくみ方針として

① 店舗網の形成 若者が集う個性豊かな店舗網② 密集住宅エリアの再生 下町情緒が残る安

川市内でも、最も空き店舗が多い状況です。すぐ近くの超大型店舗はじめ、大型店が非常に多い中で、新たな商店の確立がはたして両立するのかなど、課題は多いと言えます。

1人暮らしの世帯が増加しています。「孤独死」も増えています。調査によると、孤独死の8割は男性。女性は2割。女性の場合は家の外に出て人と交流する機会が多いが、男性は少ない。「自宅でテレビの番」をしている人が多い。



松尾 信次



## 日本共産党 躍進のつどい

日時:7月15日(月・祝)  
午後2時  
場所:寝屋川市民会館小ホール

弁士  
清水ただし前衆議院議員

太田とおる  
党12区国政対策委員長



私は、居住地と事務所のある所在地の2つの老人会に加入しています。が、行事の参加は女性が8割以上。男性も学びたいですね。

もちろん女性もたいへんです。高齢単身女性の4割が貧困世帯で、男性にくらべて低い収入です。同時に男性もふくめ、年金の削減、物価高のもと生活はた

いへんです。低賃金で働く人が増えています。今年度、介護保険料、後期高齢者保険料などが引き上げられました。介護を要する高齢者のための特別養護老人ホームは、寝屋川市だけでも300人もの待機者。有料老人ホームなどは毎月15万円から20万円もの自己負担が必要。どう考えても、老後の安心にほど遠い状況です。

「裏金」で私腹を肥やす政治をやめさせる。軍事予算の2倍化、大企業への減税をやめ、何よりもくらしと平和を守る政治に転換することが切実にもとめられます。